

災害多発時代に発想の転換を

『ジャーナリスト』「月間マスコミ評・新聞」に寄稿して18年になる。私にとって貴重な発信の場であり、できれば継続していきたい。2006年10月から14年6月までは『災後の新聞—現実化する危機を前に』に収録したので、続編も刊行したいものだ。原稿は14日にレポートしたが、2024年1月号が届いたので、もう一度紹介したい。

(2024年2月1日)

年初から能登半島で巨大地震が発生し、甚大な被害をもたらした。災害列島日本で、災害多発時代を実感させる。震源に近い志賀原発にも危険が迫った。巨大地震災害の全容はいまだ不明だが、厳冬の地で災害関連死が危惧される。国民一体の迅速な支援が求められる。

羽田空港滑走路で衝突炎上事故が起こった。原因の徹底究明が必要だ。羽田空港の混雑は世界3位で、超過密のなかの大事業で、自民党派閥の政治資金問題に正面から取り組む覚悟が見えなかった(毎日5日)。

岸田政権は超低支持率ながら、大軍拡と強権政治を進めている。昨年、沖繩県知事の権限を奪う前例のない代執行を強行。「苦難の歴史を歩み、過重な基地負担を押し付けられてきた沖繩でも「これ以上、結論の先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)。一方、読売は「沖繩県知事は司法の判断に背いて、手続きを拒んで、この国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

山田明

月間マスコミ評

年初から能登半島で巨大地震が発生し、甚大な被害をもたらした。災害列島日本で、災害多発時代を実感させる。震源に近い志賀原発にも危険が迫った。巨大地震災害の全容はいまだ不明だが、厳冬の地で災害関連死が危惧される。国民一体の迅速な支援が求められる。

羽田空港滑走路で衝突炎上事故が起こった。原因の徹底究明が必要だ。羽田空港の混雑は世界3位で、超過密のなかの大事業で、自民党派閥の政治資金問題に正面から取り組む覚悟が見えなかった(毎日5日)。

岸田政権は超低支持率ながら、大軍拡と強権政治を進めている。昨年、沖繩県知事の権限を奪う前例のない代執行を強行。「苦難の歴史を歩み、過重な基地負担を押し付けられてきた沖繩でも「これ以上、結論の先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

新聞

災害多発時代に発想の転換を

故である。この事故からも学ぶことは多い。今年の元日社説は毎日二つの戦争と世界、日経一分断回避に對話の

金パティをめぐる裏金疑惑である。安倍派だけでなく、自民党全体の「構造汚職」と言える。岸田首相の年頭記者会見からは、「政治とカネ」

治を進めている。昨年末、沖繩県知事の権限を奪う前例のない代執行を強行。「苦難の歴史を歩み、過重な基地負担を押し付けられてきた沖繩でも「これ以上、結論の先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。

「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。読売は日本学術会議について「第2次大戦後、先延ばしを繰り返さず、国の民主主義が揺らいでいる」(朝日12月20日)と主張。